

トルコギキョウへのネバリン施用効果について

日本肥糧株式会社

1. 目的 トルコギキョウ栽培において、水溶化腐植入り土壌改良資材「ネバリン」を施用し、その効果を確認する。
2. 設置場所 静岡県御前崎市
3. 農協名 JAハイナン白羽営農センター
4. 生産者名 M 様
5. 品目 トルコギキョウ
6. 品種 「ボンボヤージュ」
7. 定植日 2019年11月30日
8. 収穫予定日 2020年4月20日
9. 根部調査日 2020年5月22日
10. 区画施用資材 施用区；ネバリン20kg/a
無施用区

11. 施用試験の圃場状況

ネバリン施用試験の圃場の状況を第1図から第12図に示しました。また、根部掘り取り後の状況を第13、14図に示しました。根長、根部乾物重測定結果を第1表に示しました。



第1図 施用区の状況(2020.02.21撮影)



第2図 無施用区の状況(2020.02.21撮影)



第3図 施用区の状況(2020.02.21撮影)



第4図 無施用区の状況(2020.02.21撮影)



第5図 施用区の状況 (2020.04.08撮影)



第6図 無施用区の状況 (2020.04.08撮影)



第7図 施用区の状況 (2020.04.08撮影)



第8図 無施用区の状況 (2020.04.08撮影)



第9図 施用区の状況 (2020.05.22撮影)



第10図 無施用区の状況 (2020.05.22撮影)



第11図 施用区の状況 (2020.05.22撮影)



第12図 無施用区の状況 (2020.05.22撮影)



第13図 両区画の根掘り取り後の状況(2020.05.22撮影)



第14図 根洗浄後の状況(2020.06.02撮影)

12. 調査結果

第1表 根長、根乾物重の測定結果

	根長 (m)	根乾物重 (g)
ネバリン区(T)	53.7	1.163
無施用区(C)	28.7	0.702
T/C×100(指数)	187	166

注1)根長、根乾物重は各区8個体の平均値。

注2)根長は直径0.2～2mmの細根をルーツキャナーにて測定。

13. 結果および考察

- ①トルコギキョウへのネバリン施用区と無施用区の達観での生育確認および根長、根部乾物重の調査および分析を行った。
- ②生育初期から、施用区は株の揃えおよび草勢が無施用区に比べて良い状態であった。また、欠株の割合がネバリン施用区に比べ、無施用区ではかなり多かった。
- ③生育中期から後期にかけて、ネバリン施用区は草勢の維持は良好であり、収穫物の採花時期も早く、収穫物の割合も無施用区に比べて多かった。
- ④栽培終了後に両区画の根長および根乾物重を比較したところ、ネバリン施用区の方が無施用区に比べ根長が1.87倍、根乾物重が1.66倍と増加しており、特に細根の量が多かった。
- ⑤ネバリンの水溶化腐植の効果により、根の発根促進やキレート効果による養分吸収が高まり、定植後の根の活着促進や地上部生育が充実し、安定生産に繋がったと考えられる。
- ⑥以上より、トルコギキョウ栽培におけるネバリンの施用効果は、定植後の根張り促進と養分の吸収を高め、地上部の生育や品質向上に繋がり、トルコギキョウ栽培に適していると考えられる。

以上